

2020 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の間に 当科においてリハビリテーションの治療を受けられた方及びご家族 の方へ

—「リハビリテーション病棟における自宅退院患者に対する服薬自己管理能力判定基準化 の評価方法」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護師	小原朱加
研究分担者	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護副主任	上原和也
	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護師	岡田彩花
	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護師	小野世蓮
	川崎医科大学附属病院	5 階北病棟	看護師	木本千晶

1．研究の概要

リハビリテーション病棟では、自宅退院に向けて内服薬の自己管理を行っている患者さんが多くいます。脳梗塞後や脳出血後、骨折後など疾患は様々であり、中には高次脳機能障害や意識障害、認知機能障害を持っている患者さんも多く、退院後の内服自己管理が困難な場合があります。しかし抗凝固薬や降圧剤、抗てんかん薬など管理を間違えると患者さんの体調に悪影響を及ぼします。そのため内服管理は退院指導として大切な看護支援のひとつです。

附属病院看護部作成の服薬管理アセスメントシートを使用し内服管理方法の検討を行っていますが、担当看護師の判断により開始となる場合が多く、評価基準に差がみられるのが現状です。

患者さんが内服薬を管理できるか判断する基準を定める為に、内服に関連した報告書や患者さんの身体機能や認知機能に関する評価記録を確認します。

2．研究の方法

1) 研究対象者

2020 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院 5 階北病棟において入院治療を受けた方の内、期間中に自己管理薬に関する報告を行った患者さんを研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2023 年 3 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院においてリハビリテーションの治療を受けられた方で、内服に関連した報告を行った患者さんの診療情報をもとに服薬管理能力に関する分析を行い、日常生活機能評価の点数との内服管理の関係について分析を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、病歴、内服に関する報告書の内容、日常生活機能評価点数、認知機能検査の点数 等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院5階北病棟フロア管理室で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 5階北病棟

氏名：小原朱加

電話：086-462-1111 内線 25840（平日：8時30分～17時00分）

メールアドレス：kango-kenkyu.2022.07@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究においての研究費は研究責任者の負担で行います。

本研究に関する利益相反の有無及び内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適切に管理されています。